

随 想

畑の隣に、
世界があった

「SNS(※1)を活用すれば、お金をかけなくても皆さんの大切に育てた野菜や果物を日本中に世界中だつて知ってもらうことができる可能性がある！」

私は数年前から奈良、大阪、徳島、兵庫などの農家様や村の観光協会様、農業支援機関等向けに、お手持ちのスマートフォンを使い、手軽でコストをかけないインスタグラム(※2)を活用した販売促進セミナーやネットショップ立ち上げの支援をさせていただいているSNS活用ITコーディネーターです。

初めは恐る恐るお話を聞いている方も、数カ月の活用研修やレッスンに挑戦いただいた農家様の多くは、インスタグラムの発信が楽しくなり、DM(※3)やネットショップで野菜の注文を受けるようになられ、インスタライブ(※4)でお客様に畑の魅力を伝える方も登

場し、フォロワーも増え、集客や販売を実現しておられる方も。地方にある畑と、都会に住む消費者が、スマホ一つでつながっていく――。

これは、私が関わってきた「SNSドリーム」のうちの一部のお話です。

奈良の女性農家チームの挑戦

最近、とくに印象的だったのは、奈良で活動する女性農家のチームです。

スマホ1つで
畑と世界がつながる

モバイルエール ITコーディネータ

橘 明日香

現在そのチームの方の中には、農業体験イベントや地元マルシェの集客にもSNSを活用している方もおられます。

デジタルは冷たい？いえ、ぬくもりも運んでくれます

「SNSって、冷たくて苦手……」

そんなふうに話される農家様も少なくありません。

でも、実際は違います。

日本のSNSの代表格、無料

私は彼女たちのリクエストで、コストをかけずに無料ネットショップ「BASE」を立ち上げ、インスタグラムで収穫したての野菜や果物を紹介する応援をさせていただきました。

一人ではなかなか一歩を踏み出すことに躊躇してしまう中、仲間がいれば頑張れる。わからないことを相談し合いながら、発信にチャレンジ。本当に素敵なチームでした。

LINE公式アカウントを開き、お客様に登録してもらうことで関係性を築くことができます。節目ごとに「梅干しできました！」「冬野菜そろそろです」のようなメッセージを送り、ネットショップでの購入へとつながっていくのです。

また、スマホで栽培の様子を撮影し、無料の動画編集アプリでショート動画を作成。その動画はインスタグラムやLINE

でシェアされ、「この野菜はどこで買えますか？」というコメントが届き、販売につながる。ライブ配信では畑からのリアルな声を届け、ファンを育てていく様子に、私も感動しました。つながりが、続いていくあたたかさに、デジタルの可能性を強く感じました。

スマホ×SNSは、

地域と未来をつなぐ道具

スマホは、単なる連絡手段ではありません。SNSを掛け合わせることで地域の魅力を、地元の人が自分の言葉と画で世界に発信できる、最高の「道具」だと思っています。

これからの農業は、土を耕すだけでなく、情報も耕す時代。スマホ一つで、畑は世界とつながり、田舎にいても時代の真ん中に立つことができる。

そう信じて、私はこれからも、地域の方々のそばでスマホ×SNSの力を届けていきたいと思っています。

(※1) ソーシャルネットワークサービスの略。交流を目的としたネットサービス。

(※2) SNSの一種

(※3) ダイレクトメッセージの略。個別メッセージ機能。

(※4) インスタグラムの機能を使ってスマホでライブ配信すること

◇筆者の紹介(たちばな あすか)

SNS講師。中小企業のためのSNS活用を踏まえたHP制作モバイルエール代表・ITコーディネータ。お客様とつながるきっかけ仕組み作り、インターネット活用・デザインの困ったを解決！をモットーに売上向上させる提案が得意なITコンサルティングでありWEBデザイナー。日本商工会議所デジタル化支援セミナーSNS集客・活用部門講師。関西を中心に幅広く活躍し、セミナー、専門家派遣等支援延べ7000人以上、制作に携わったHPは2500以上の実績をもつ。めまぐるしく進化していくWEB情勢をわかりやすく解説するセミナーが好評。

円滑化法リーフで

貸借推進を

全国農業委員会都市農政対策協議会(事務局・全国農業会議所)は、都市農地の貸借の円滑化に関する法律のリーフレットを作成。図解で同法の意義・メリットを解説。農業会議は各農委に配布し、貸借を推進。

